

# あいちの印刷

# 11

2011.11  
No.480



伊尾明里さんの作品

もくじ

巻頭言「3月11日の東日本大震災に思うこと」 ／共済・労務委員長 猪飼重太郎……………	3
「印刷物ご発注に関するお願い」について……………	6
印刷産業ビジョン“SMATRIX2020” —スマート社会に貢献する印刷産業—……………	7
リサイクルされるCTP版、PS版……………	8
円高対策(緊急無料相談窓口の設置について)……………	9

全印工連「フォーラム2011」講演より WILEN社(米国)の戦略と業態変革の実践……………	10
身近な催し物のお知らせ……………	11
永年勤続優良従業員被表彰者名簿……………	11
IGAS2011レポート……………	12
11月は「労働保険適用促進強化期間」です ／工業統計速報値発表／事務局だより……………	14

 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

## 巻頭言

# 「3月11日の東日本大震災に思うこと」

共済・労務委員長 猪飼 重太郎

私の『大震災』は忘れもしない36年前、昭和50年9月6日です。金曜日の仕事が終わって自宅でくつろいでいると、8時ごろ電話が鳴り、「工場が燃えている」と連絡が有りました。すっ飛んでいくと、工場はもう火が広がり、とても近づける状態ではなく、燃え尽きるのを見守るばかりでした。

当時、わが社は活字を鋳造しながら版を組み、それを印刷にかける活版印刷でした。父は当時63歳でしたが、その年、私に社長を譲り会長職でした。翌日、幹部社員と父とで今後の対応を話し合いました。父は「辞めよう」と言いましたが私と幹部社員は存続を主張しました。火災保険もわずかしか掛けてなくて、個人の出資で当時、篠原機械様に格安で2台の活版機を供給していただきました。勿論、活字も光文堂様から格安で調達していただき何とか1ヵ月後には仮工場で客先の社内報を作成できたことを記憶しております。自分も未だ28歳と若く、父も一時は再建に反対でしたが、私がやると決断した後は、全面的に協力してくれ、仕入れ業者への対応をきめ細かく後押ししてくれました。特に今でもお付き合いいただいている紙屋さん2社のS社とH社には、人的なお手伝いを何日も無償でしていただき会社の復興に協力していただきました。また、組合の方からも多額のお見舞金をいただき仕事も手伝っていただき本当にあり

がたかったです。特にK印刷の亡くなられた会長様には値段抜きで協力をしていただきご恩に感じています。客先も、私が火災の報告とそれによる製品の供給の停滞をお詫びに参上すると、A社の購買担当者は「猪飼さん、心配しなくても良いからしっかりやりなさい」と激励していただき、燃えてしまったお預り在庫の商品も弁償をご容赦下さり、お取引を継続していただきました。ある大手の企業様では、半額で良いから供給してくださいと要望が有り、大変助かったことを覚えています。私どもでは客先の大切な情報やら製品に携わっており、また在庫として預かっております。それが信用と信頼にも繋がっているのではと思います。その後活版を廃棄しオフセット印刷へと、そして昭和52年にフォーム印刷へと業態変革を進めていきました。当時は設備すれば仕事があり、値段もそこそこの通り、客先もどんどん市場を拡大されて、日本という国が高度成長をしていた良き時代であったと思います。

今、私は組合の中において、組合員の皆様にご貢献できるよう微力ながらお手伝いしております。私の周りでは後継者不足やら不都合な会社運営により、会社の存続を断念される会社も何社か見受けられます。大変厳しい時代ですが組合に入っているメリットを少しでも提供できるよう努力しなければと思うこの頃です。

## オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、  
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、  
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 **アクス**

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号  
名古屋本部 TEL:052(220)3511 F:052(220)3513 FAX:052(220)3522  
Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail [info@axuas.jp](mailto:info@axuas.jp)

## 「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。  
聞いてはいるがよく判らないという方のために、  
本社1階にショールームを開設いたしました。  
**ぜひ一度、体験して下さい。**

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、  
ディスプレイや電飾看板にも使えます。  
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずです。  
心よりお待ち申し上げます。  
(経営課本部 環境ソリューション事業部)



ポスターグランプリ展の会場（愛知県美術館ギャラリー）



愛知県芸術文化センターで開催された入賞者表彰式

## ●愛知県印刷工組など4組合主催

# 第2回ポスターグランプリ・入賞者表彰式

## 愛知県芸術文化センターで開催／グランプリ、優秀賞など各賞を授与

“まちの魅力を伝えよう！”をテーマとした「第2回ポスターグランプリ」（主催＝愛知県印刷工業組合、愛知県印刷協同組合、岐阜県印刷工業組合、三重県印刷工業組合）の入賞者表彰式が、ポスターグランプリ展（入賞・入選作品展）会期中（11月1日～6日／愛知県美術館ギャラリー・展示室A）の「文化の日」の11月3日午前10時30分より、愛知県芸術文化センター・アートスペースAで開催されました。入賞者表彰式には主催組合関係者ほか、入賞者、来賓（後援団体等）、審査員など多数が参加。グランプリ（最優秀賞）に輝いた伊尾明里さん（名古屋総合デザイン専門学校）に愛知県印刷工組の高井昭弘理事長より賞状と副賞が授与されたほか、各賞が入賞者に授与されました。

入賞者表彰式の司会は、岐阜県印刷工組の大洞正

和理事が務めました。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った高井理事長は、来賓、審査員、入賞者など参加者、そして協賛企業に感謝の意を表した後、第2回ポスターグランプリが愛知、岐阜、三重の3県に拡大して開催されたことを説明。「広い地域から、たくさんの作品を応募していただき、心から感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。

次に「現在の不況の背景に、円高や震災の影響だけがあると私は思っていません。ハードからソフトの時代が変わってきたことが要因としてあるのではないのでしょうか。そのソフトの中心にはデザインがあります。そして我々の印刷業界になくはならないものがデザインです。これからの社会に役立つのがソフトであり、デザインではないだろうかとは



グランプリに輝いた伊尾明里さんと高井昭弘理事長



展示されたグランプリ作品（中央）と優秀賞



主催者を代表して挨拶する  
高井昭弘理事長



審査報告と作品講評を行う  
高北幸矢審査委員長

思うのです」とデザインの重要性を指摘。そして次のようにデザインを専攻する学生の方々に期待を表明しました。

「学生の皆様方には、社会に役立つ大事な仕事が待っています。どうか学校でしっかりとデザインの勉強をしていただき、このポスターグランプリもその中の一つとして活用していただき、社会に貢献する青年に育っていただきたいと思います」

高北幸矢審査委員長（名古屋造形大学学長）をはじめとする審査委員が紹介された後、入賞者発表と賞状・副賞の授与が行われました（入賞者氏名は来月号紹介）。各賞のうち、グランプリ、優秀賞は高井理事長、中部経済産業局長賞は中部経済産業局流通サービス課の彦坂謙二課長、愛知県知事賞は愛知県産業労働部地域産業課の吉田英生課長、岐阜県知事賞は岐阜県印刷工組の四橋英児理事長（代理・若山雅彦理事）、三重県知事賞は三重県印刷工組の塚本征也理事長が授与しました。

入賞者発表と賞状・副賞の授与に続き、高北審査委員長が審査報告と作品講評を行いました。

高北審査委員長は「このような素晴らしいコン



入賞者表彰式をテレビ局のクルーが取材

クールがあって、（デザイン）教育に刺激を与える。また、学生諸君の未来に一つの力となる。そういう機会を与えていただいたことに感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べた後、9月13日午後、東桜会館で開催された審査会の内容と経過を報告。作品講評では、グランプリに輝いた伊尾さんの作品（四日市のコンビナートの力強さや迫力、綺麗さを夜景で表現）を「着目点、表現とも素晴らしい。今回のコンクールの目的に適っています」と評価しました。

来賓紹介（中部経済産業局・彦坂課長、愛知県・吉田課長、㈱中日新聞社社会事業部・尾久充弘部長、中部デザイン団体協議会・安藤清会長、愛知県産業労働部地域産業課・上兼陽子氏）の後、来賓を代表して中部経済産業局の彦坂課長が祝辞を述べました。祝辞の中で彦坂課長は、モノづくりにおけるデザイナーの役割の重要性を指摘した上で、ポスターグランプリに次のように期待を表明しました。

「常に若者の感性、創造力がなければ、これからの日本の産業・経済の発展はあり得ないと思っています。そういった意味で3県の印刷工業組合様がポスターグランプリを設け、それに学生の皆様に参加されるということ、それ自体に大きな価値があると思います。今回の取り組みは2回目ということですが、こういった取り組みは継続していくことが大切です。3県の印刷工業組合様には今後も頑張ってくださいと思います」。

## ■全日本印刷工業組合連合会

### 経済産業省「公募事業」を受託 印刷産業におけるビジネスモデルの調査研究

全日本印刷工業組合連合会（水上光啓会長）は、この程、経済産業省の公募事業「平成23年度我が国情報経済社会における基盤整備（印刷産業におけるビジネスモデルの調査研究事業）」を受託した。

同事業は、特に中小規模の印刷事業者を念頭に、①ITなどを活用し顧客接点を合理的に構築する受発注システム、②地域への密着と経済効率を両立するシステム、について調査する。

導入可能性と事業モデルを研究することで、ITの活用などによる受発注の効率化、各地域の事業者間の連携など、新たなビジネスモデルの構築を促進する。海外の先進事例調査、国内では、地方の数万人規模の現地調査などを予定している。全印工連では、検討委員会を設け、調査報告書をまとめる。

# 「印刷物ご発注に関するお願い」について

インキ、用紙、製版フィルムなど、諸資材の値上げが続く中、お客様に窮状を訴える文書「印刷物のご発注に関するお願い」(以下、「お願い状」)を下記の通り作成しました。

なお、「お願い状」の活用には次の点にご注意願います。

1) 使用を強制するものではありません。

2) 改変は自由ですが、発信人に組合名を使用する場合は、「価格の値上げ」「適正な価格へのご理解」などの表現は避けてください。

3) 配布を契機として、価格の引き上げなどについて、組合員間で共通の意思が形成されるなど、競争制限的な行為が行われるような場合には、独占禁止法上問題となる恐れがあります。

平成 23 年〇月〇日

お客様 各位 (〇〇〇株式会社御中)

全日本印刷工業組合連合会  
会長 水上光啓   
東京都印刷工業組合  
理事長 水上光啓   
株式会社 〇〇〇〇〇〇  
代表取締役社長 〇〇〇〇

印刷物ご発注に関するお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、私ども印刷業界におきましては、主要資材が原燃料価格の上昇を理由に値上がりしています。インキは既に本年6月から10%~20%の値上がり、印刷用紙も今秋から順次10%~15%の値上げが実施される予定で、今後、その他諸資材の値上がりも避けられない状況です。  
このような情勢の中、印刷業界は一層のコストダウンにより対応を続けておりますが、印刷用紙を中心とする諸資材の高騰が経営を大きく圧迫し、厳しい状況に直面しております。  
印刷業界は更なる経営努力を続けて参りますが、お客様各位におかれましては、これら諸事情をご賢察いただき、ご発注に際しましては格別のご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

# OLIVER496SD

菊全判4色印刷機

## 大型多色SDシリーズ 第一弾

**オールインワン**  
最新自動化設備 完全装備



最新の製品を先行することで、お客様の満足度を高めます

### Sakurai

株式会社 関川精工株式会社  
<http://www.sakurai.co.jp>

本社  
〒105-8028 東京都港区南青山4-2-8  
TEL.03(3543-1121) FAX.03(3543-1128)

平塚工場  
〒911-3728 新潟県平塚市1-1-1  
TEL.0257(3)35-055 FAX.0257(3)35-0880

文庫工場  
〒539-8012 大阪府東淀川区本庄3-1-31  
TEL.06(3)8308-655 FAX.06(3)8308-6578

九州工場  
〒810-0001 福岡県北九州市若尾6-8  
TEL.092(7)31-0670 FAX.092(7)31-0678

船橋工場  
〒901-3730 岐阜県美濃郡0891  
TEL.0575(3)33-1280 FAX.0575(3)33-148



ISO 9001・14001 認証取得  
品質保証

## (社)日本印刷産業連合会

# 印刷産業ビジョン “SMATRIX2020” —スマート社会に貢献する印刷産業—

## 印刷産業を取り巻く課題と今後の印刷産業 変化への対応により多くの市場確保が可能

(社)日本印刷産業連合会(猿渡智会長)は、このほど印刷産業ビジョン「SMATRIX2020/スマート社会に貢献する印刷産業」を刊行した。この印刷産業将来ビジョンは、近未来を「IT技術を活用したスマート社会」と位置づけ、スマート社会における次世代型印刷産業を提案、提唱したもの。

日印産連では、「これまで情報流通の基盤として様々な役割を果たしてきた印刷産業が、スマート社会においては、より広い分野で多核的に役割を担う必要がある。本書では、そうした次世代印刷産業に進化するために、どのような変革を推し進める必要があるのか。また、個々の企業として、あるいは共同体として、多様なビジネスモデルを構築していくために、どのようにマネジメント力を結集し、どのように各企業の独自性やサービスを強化することができるのか、市場分析を通じて論じている。ぜひ、事業企画立案に活用していただきたい」と推奨している。

同書刊行にあたって猿渡会長は、「今回の印刷産業将来ビジョンでは、印刷産業が目指すべき姿とこれから求められるマネジメント力を、いくつかの事例をあげて紹介しました。各社が自社の個性を強みとして、次世代を自ら切り開き、成功を勝ち取っていただくための一助になることを期待いたします」「(はじめに)より」と期待を表明している。

この印刷産業将来ビジョンは、次の4章で構成されている。

### 第1章・印刷市場規模予測

①2000年～2010年日本経済と印刷産業 ②印刷

「SMATRIX2020」



産業市場規模(2005年の確定値化、2010年の新推定値)

### 第2章・印刷産業ビジョン構築に向けて

①印刷産業の課題・これからの10年 印刷産業を取り巻く課題・今後の印刷産業・印刷産業の再定義

②分野別課題と方向性 技術・環境・国際

### 第3章・経営課題調査分析

### 第4章・方向性と事例研究

①印刷産業のコラボレーションに向けた仕組みづくり

②印刷産業のリスク対策 ③サステナブル社会に向けた印刷産業と印刷イノベーション ④印刷産業の事業・

技術伝承を可能にするための人材活用の仕組み ⑤グ

ローバル化によって変化する印刷市場 ⑥多核化する印刷

産業の展開 ⑦グローバル・ネットワーク時代の知的

財産戦略

〈「SMATRIX」とは〉

「スマート社会における知的なコミュニケーション基盤として新たな役割を担う次世代型印刷産業をSMATRIX(スマトリックス)と命名する。Matrix(基盤・母型)とSmartを一緒にした造語」「(印刷産業将来ビジョン)より

体裁:A4判184頁

定価:会員・賛助会員3,000円、一般5,000円(消費税込み、送料別)

(日本印刷産業連合会:TEL03-3553-6051)

多様化するニーズに応じて

オフセットプロセスインキ  
**Abian PREMIER**  
エコーフレックス100

100%植物油型樹脂インキ  
**Naturalith100**  
ナチュラルリス100

乾燥プロセスインキ  
**Fusion G**  
フュージョンG

新世代エッジコート  
**Presarto**  
プレサート

カルトン用UVインキ  
**立派 CURE ABILIO**  
アビリオ

NEW 粉末ローラーパッケージ  
**DIC水棒ECOパック**  
[DICの粉末インキECO] + [DICの水性インキECO]

**DICグラフィックス株式会社**  
■本社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ティーアイシービル  
■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15

## ■PRINTING TOPICS

### リサイクルされるCTP版、PS版

#### 環境負荷を大幅に低減する

#### 「クローズドループリサイクル」がスタート

富士フイルム㈱では、オフセット印刷用版材として利用されているCTP版/PS版を再利用する「クローズドループリサイクル」を10月よりスタートすると発表しました。環境負荷低減に貢献するこのシステム、どのように再利用されるのか紹介してみます。

#### 【刷版からアルミを再利用】

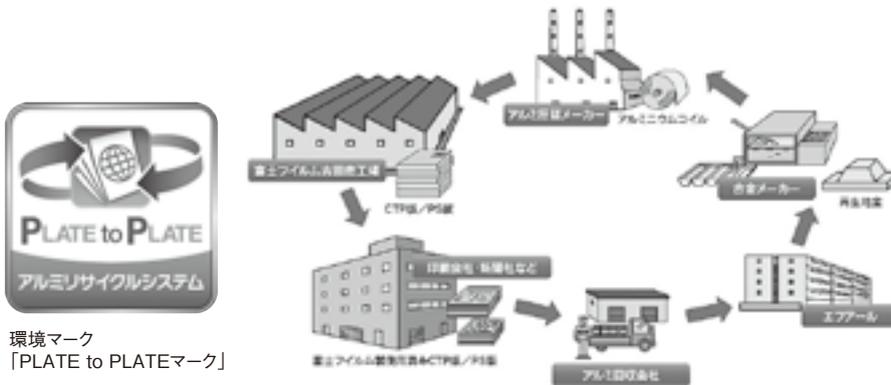
「クローズドループリサイクル」(※)システムは、印刷会社や新聞社、アルミニウム回収会社、合金メーカー、圧延メーカーなどの各社による協力体制が構築されています。

オフセット印刷用版材「CTP版/PS版」には、

耐刷性や保水性、耐汚れ性など良好な印刷特性を確保するために、純度の高いアルミニウムを使用しています。そのため、従来はアルミニウムの新地金を使用してきました。しかし、アルミニウムの新地金を製造するには、新たな資源と大量のエネルギーを要し、大きな環境負荷がかかります。例えば、ボーキサイト精錬工程で新地金1kgを得るためのCO<sub>2</sub>発生量は9.22kgCO<sub>2</sub>が発生し高環境負荷となります。これに対して再生地金1kgを得るためのCO<sub>2</sub>発生量は0.31kgCO<sub>2</sub>と低環境負荷で、新地金製造の3%程度の環境負荷で済みます。

アルミニウムはいったん微量金属を添加して合金にすると、微量金属を除去して純度の高いアルミニウムに戻すことができないため、純度を落とさずにリサイクルすることが必須となっていました。

富士フイルムは、平成19年に生産工程で発生したテストサンプルや端材など、製品として使用されない廃材アルミニウムを再利用するクローズドループリサイクル体制を確立。リサイクル時の不純物の混入を抑えて、高品質なCTP版/PS版を製造・提供する中で、クローズドループリサイクルの実績を積



使用済み「CTP版/PS版」のクローズドループリサイクルシステムの仕組み

※クローズドループリサイクル：品質の低下を伴わず、同じ製品に再生するリサイクル。資源廃棄を最小限にすることができる。

※CO<sub>2</sub>排出量最大63%削減：「CTP版/PS版」の原材料に、アルミニウム新地金を使用した場合と、使用済み「CTP版/PS版」を全て再利用して生産した再生地金を使用した場合との比較。アルミニウムの原材料となるボーキサイトの精錬から「CTP版/PS版」製造までに発生するCO<sub>2</sub>発生量の削減効果を示している。

**TOYO INK**

## 生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノづくりの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界に広がる「生活文化創造企業」を目指します。

**東洋インキ株式会社**  
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-801 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

[www.toyoink.co.jp](http://www.toyoink.co.jp)

んできました。

今回、同社では、環境負荷のさらなる低減を図るため、印刷会社や新聞社で使用されたCTP版／PS版のクローズドループリサイクルの仕組みを新たに構築しています。具体的には、まず同社のグループ会社で、今回のリサイクルの推進窓口となる(株)エフアールが、印刷会社や新聞社などと取引しているアルミニウム回収会社を通じて、同社製の使用済みCTP版／PS版を入手。協力先の合金メーカーが、使用済みCTP版／PS版を再生地金として生産し、さらに圧延メーカーが、その再生地金を使って純度の高いCTP版／PS版生産用アルミニウムコイルへと加工。このアルミニウムコイルを原材料に使い、同社の吉田南工場で高品質なCTP版／PS版を製造するというものです。

このリサイクルしたアルミニウムを生産工程へ投入することで、アルミニウムの製造からCTP版／PS版の生産までに発生するCO<sub>2</sub>量を、アルミニウム新地金を使用した場合と比較して最大63%削減(※)できるとしています。まさに、21世紀の地球にとって最重要課題である“持続可能な発展”に貢献することができるといえます。

### 【リサイクル拡大へ環境マーク制定】

富士フイルムでは、このリサイクルの拡大を推進するため、同活動への参画を証明する独自の環境マーク「PLATE to PLATEマーク」を、ISO14021(環境ラベル・タイプII)に基づき制定し、印刷会社や新聞社などへ提供していきます。今後、参画企業は、同マークを印刷物に表示するなど、環境への取り組みに有効活用することができます。

## ■円高対策

### (緊急無料相談窓口の設置について)

急激な円高の進行により、県内企業の収益の悪化や国際競争力の低下、さらには、産業空洞化及びそれに伴う地域経済や雇用への深刻な影響が懸念されます。

こうした中、(財)あいち産業振興機構では、緊急円高対策の一環として専門家による無料相談会を10月から毎月1回(計5回)開催します。中小企業の皆様は円高により抱えている経営上の問題点に対して、専門家(弁護士・中小企業診断士)が無料で相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

#### 【相談日時】

平成23年10月から平成24年2月まで、毎月第3木曜日、午後1時～午後4時。

平成23年10月20日(木) 法律相談(弁護士)・経営相談(中小企業診断士)

平成23年11月17日(木) 〃

平成23年12月15日(木) 〃

平成24年1月19日(木) 〃

平成24年2月16日(木) 〃

#### 【開催場所】

(財)あいち産業振興機構相談室 愛知産業労働センター14F(ウィンクあいち)

#### 【相談費用】

無料

#### 【申し込み方法】

電話予約または直接窓口へ(事前に電話にて時間指定をしていただくと、当日スムーズに相談ができます。直接窓口に来ていただくと、お待ちいただくことがございます)。

#### 【申し込み・問合せ先】

(財)あいち産業振興機構 経営支援部 経営アドバイスグループ

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38

TEL052-715-3070(ダイヤルイン) FAX052-563-1436

## なぜ、人材派遣はモトヤ？

印刷関連業務のスタッフを  
必要なときに必要な期間だけ  
派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

# M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-00254/紹介事業許可番号 27-ユ-000174

それは、印刷関連業務に特化した  
人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

#### ■派遣職種■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合会社を目指す

# 株式会社 モトヤ

<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 平461-0035名古屋市中村区黒門町128 ☎(052)935-5315

大阪 平542-0081大阪市中村区南船場1-10-25 ☎(06)6261-1931

東京 平104-0032東京都中央区八丁堀4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

## ■全印工連「フォーラム2011」講演より

WILEN社(米国)の  
戦略と業態変革の実践

「一番しては  
いけないことは、  
何もしないことだ」

ウィレン社  
ダリン・ウィレン社長



全印工連では、9月16日東京ビッグサイトで「全印工連フォーラム2011」を開催した。フォーラムの詳細については先月号で報告したので、本号では、第2部で行なわれた米国印刷会社ウィレン(WILEN)社のダリン・ウィレン社長の講演内容を紹介してみる。ウィレン社は、顧客データの分析、パーソナライズ印刷、カラー印刷に積極的に投資・挑戦を行い、急成長を遂げたDM会社である。講演の中で、ウィレン社長は、「新しい技術に積極的に投資をしていかないと、他社に先行される」とした上で、「一番してはいけないことは何もしないことだ」と警鐘を鳴らした。

## ■顧客の要望に応える

ウィレン社について紹介してみる。ウィレン社はダイレクトマーケティングを手掛けるウィレン・ダイレクト社と代理店のウィレン・メディア社、モバイルやビデオなどのオンラインを含めたクロスメディアを手掛けるウィレン・デジタル社の3社でウィレン・グループを形成している。

ウィレン社は1972年、ケーブルテレビネットワーク放送局HBOの起業家チャールズ・ドラン氏が、私の父であるリチャード・ウィレンに番組ガイドの作成を依頼したことから始まる。1991年にはHBOのボクシングイベントのプロモーションを行うためのDM代理店を手掛け、以来、マイク・タイソンの試合を始めとするボクシングイベントのDM代理業を20年にわたって続けている。1997年に

初めて印刷機を導入、2004年には封入・封緘を含むDMビジネスに進出。2年間でフロリダ地区2番目のDM業者となった。2006年にインラインのプリンタヘッドで宛名印字を開始。2009年にはOen to Oenマーケティングに焦点を移したことで、ウィレン印刷からウィレン・ダイレクト社に社名を変更。コダックの「プロスパーS10」を導入し、10ヶ月足らずで2億通のDMを製造する会社になった。

何故、このように積極的な投資をし、業態変革をするのか、それは、単純に顧客の要望に応えるためである。同時に大事なことは、我々の仕事は、新しい技術に投資をし先に取り組みなければ、他の誰かが取り組み、顧客へ新しいサービスを提供し仕事を奪ってってしまう。我々は印刷物を売るのではなく、マーケティング・ソリューションを売っている。常に我が社は、顧客が望むことの一步先を読んでいる。そのために最新の技術を導入する必要がある。

我々は、大量に配布してレスポンスを得る従来の伝統的なDM手法から、顧客の属性に応じて選択されたグループに効果的に送るDM手法にシフトさせた。ウィレン社には、三つの挑戦があった。一つ目は、投資に見合う利益を確保すること、二つ目は、印刷ではなくマーケティング・ソリューションを売ること、三つ目は、それらを統合させたシステムで行う、ということである。

ウィレン社の成長戦略は、いち早く新しい技術に投資をして、顧客の要望に応えることであり、その鍵となるのは、「データ」、「パーソナライズ」、そして、「カラー」である。最初に挙げた「データ」、これこそが我々の成長戦略のコアである。多くの顧客は、大量のデータを持ちながらも十分に活用できていない。だから最初のステップは、顧客とともにデータが如何に重要であるかを見つけていくことである。データ分析を行い、戦略を立て、効果的なキャンペーンを繰り返し行っていく、そこに顧客を成功に導くゴールがある。「パーソナライズ」については、コダックの「プロスパーS10」の技術に負うところが大きい。事例を挙げると、電力会社や電話会社への案内、表紙に宛名、中にパーソナライズされた情報が印刷された雑誌などがある。「カラー」については、顧客の喚起を促すことができ、利益を得るためには非常に有効であると考えている。そのために、コダックのフルカラー可変ウェブプレス「プロスパー5000XL」の導入を検討している。

●印刷機  
●製本機  
●製本機  
●DTP関連機  
●印刷材料  
●データ制作  
●オンデマンド印刷  
●データ出力

お役に立てる  
印刷関連  
総合商社

株式会社 盛功社  
〒481-0014 名古屋市中区栄4丁目17番地  
TEL 052-632-5811 FAX 052-631-0283  
http://www.shikoku-nc.co.jp/

120余年の伝統と  
培われた信頼と  
先進の  
テクノロジー

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社  
メイカミ  
名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018  
TEL 052-631-2221(内) FAX 052-632-1418  
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場  
TEL (0566) 28-2049

## ●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
平成24年 1月13日(金) 18:00～	事業・行事 ところ	平成24年 新年互礼会 名古屋東急ホテル ※詳細調整中
2月16日(木) 15:30～ 17:00	事業・行事 ところ	愛知県印刷会館竣工記念講演会 講師:大日本スクリーン製造(株) 代表取締役会長 石田 明氏 MEDIAGE Aichi (愛知県印刷会館新名称) ※詳細調整中 講演後竣工パーティの開催を予定しております。

## ■ニッチを見出すための投資

1997年に始めて印刷機を導入したと申し上げた。当時は顧客に代理店として見られていたが、顧客のニーズに対応するために印刷機を導入した。顧客とDM製造会社の橋渡しだけでは生きていけないと感じたからである。また、データの取り扱いについては、顧客のデータシステムを利用し、マーケティング戦略を一緒にプランニングすることもあれば、自社でデータ分析するケースもある。これは、顧客の対応によりケースバイケースである。

話題になっている紙と電子媒体であるが、現在、紙が85～90%を占めているが、残りの10～15%は、SNSやオンラインビデオ、ARなどをパッケージとして売らなければ、紙の売り上げはない。顧客のマーケティング予算も紙から電子メディアに移っており、我々もデジタル部門の人員に投資をしている。250人の社員がいるが、デジタルに従事している社員は15%程度である。このデジタル部門は我々にとって歴史は浅く、いろいろなものに投資をしながら試行錯誤で今日まできている。

ビジネスを成功させるためには、余力があるうちにニッチを見出すための投資をしていかなければならない。また、競合する会社よりも早く提案し、差別化を図らなくてはならない。販促支援を行っている会社だと顧客に認識されれば、相談もされるだろうし、そうでなければ相談もされないだろう。

いずれにしても、一番してはいけないことは、何もしないことである。

**御社の印刷工場になります**

**制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制**

◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です  
◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました  
—0.04mmの薄紙から0.8mmまでの厚紙まで—  
◎完全シルバーマスターでのページもの印刷もできます

**大日印刷株式会社**

☎0564-62-8461(代)

幸田工場 豊田郡幸田町大字坂崎字石ノ巻46-1 FAX(0564)62-8463  
<http://www.p-dainichi.com> E-mail:mail@p-dainichi.com

## ■永年勤続優良従業員被表彰者名簿

(10年)

脇谷秀司、我孫子淳一(株文方社)、阿部敦子(昭和印刷(株))、加藤直敬(ツチヤ印刷(株))、青木克彦、村波幸希(名鉄局印刷(株))、日沖一彦、渡邊慎介、川原功、河島沙織、安江考浩、吉川賢次、谷口稔、石田尾慶隆(中日本印刷(株))、岩本雅、香川由佳(共生印刷(株))、安藤辰夫、岩下慎一(株鈴活印刷)、奥村晶美、生駒為彦、石川敏之、井上績、清水孝司、小沢博、白井順治(長苗印刷(株))、久田浩貴(株昭栄社印刷所)、鈴木新吾、岡島優樹(菱源(株))、村山浩行、小池輝生、渡辺加奈(株一誠社)、山本三男、久野直人、矢田部新治、平川登希代(新日本印刷(株))、榊原和彦(半田中央印刷(株))、岩月規員、鈴木聖三、名倉幸成(プリ・テック(株))、三浦徹、熊田啓、那須麻美(三井堂(株))、牧野理(株西三印刷所)、加納伸哉、中村隆治(株エムアイシーグループ)、藤田浩、五十嵐正広、富田史生、神尾聡司、恒川健(株奉仕堂印刷)、村田真一(協同印刷(株))。

(知事表彰)

土師和彦、松崎光司(共生印刷(株))、横井祐介(株鈴活印刷)、稲垣貴彦、岩根孝士、野田和裕、加藤幸二、吉田清昭(中日本印刷(株))、森島ひろ子(株昭栄社印刷所)、原田政俊(株一誠社)、加藤伸幸、梶浦敏和、高木義雄、戸田陽次(長苗印刷(株))、伊藤未知緒(半田中央印刷(株))、大獄敦(プリ・テック(株))、神谷健次(株エムアイシーグループ)、石原芳人、尾崎吉顕、白井宏明(株奉仕堂)、川合斉、鈴木浩始(協同印刷(株))。



各社表彰式のもよう/  
左上から、(株エムアイシーグループ、(株西三印刷所、菱源(株))

右上から、新日本印刷(株)、(株昭栄社印刷所)

## ■IGAS2011レポート



国際総合印刷機材展「IGAS2011」が、数々の話題を提供し閉幕した。出展各社の動きを追ってみた。

■デジタルワークフロー対応断裁機「eRC-115DX」を出展したイトーテック(株)。

ブースでは、前方から断裁機後方へと給紙するL型レイアウトのサイドローディングシステム3.1と、後方排紙スタッカーのアンローダー4.1との組み合わせによる給排紙システムと共に、同社のソフトウェアシリーズ「CIP4 Pack」を使い、CIP4/JDFデータを利用した次世代ワークフロー断裁作業が披露された。また、断ちクズを自動処理するロボトリム、トンボのズレを素早く修正するロボスイベルなど、断裁オプションも紹介された。

■新時代のコミュニケーションツールを提供する(株)キングコーポレーションからは、印刷システム、SP商品などがアピールされた。

名刺・はがきなどの印刷に関しては、同社独自の厚紙のカール矯正機構を取り入れた「カーレスユニット2」が、フルカラーレーザープリンター「DocuPrint C354/C3250」に搭載され披露された。さらに、受注から組版・

印刷・発送・管理までを全てアウトソーシングできる「名刺Web発注システム」や「印刷データ入稿サービス」、また、クライアントからの見積り要求に迅速に対応する商品の検索・見積り・発注ができる「別注見積りコーディネーター」や「商品コーディネーター」なども提案された。

■「印刷機材の総合会社」にふさわしく、多種多様な製品を紹介したのが(株)光文堂。

注目されたのは、クラス最高の生産性と高い印刷品質を誇る、高機能デジタルカラー印刷機「KBD XEIKON」である。同機は、ジャストインタイム生産、ジョブの即時切替、バージョンニング印刷、バリエブルデータ対応、多品種・少量対応など、優れた特色を持っている。

ブースを賑わした製品は、サインージ関連で、「KBDデジタルサインージソリューション」、「KBDサウンドサ

イネージソリューション」、「タッチング」。また、蛍光インキによる驚きの印刷表現ができる「KBDトリックプリント」、インクジェットダイレクトプリンタ「KBD SUPERダイレクト」、シールラベル印刷用「チェックマスターSL」、同「KBD版ピタ2」、インクボリューム最適化ソフト「KBD OnColorEco」、デジタルホットスタンピング「KBDデジタルハク」、印刷工程管理システム「KBD ProcessEdge」など。ブースでは、持ち味の総合力がアピールされた。

■ユーザーのCS向上に繋げるプリントビジネスコンシェルジュ構想をコンセプトに展開したのがコニカビジネスソリューションズ(株)。

デジタル印刷システム「bizhub PRESS」を中心に展示。同機は、商業印刷から企業内印刷まで幅広い分野のプロダクションプリント市場をターゲットにしたデジタル印刷システム。環境対応のケミカルレスCTPシステム「BLUE EARTH」も出展された。また、産業用インクジェットコーナーでは、直接ボトルに印刷ができる「Clyder JET-Pro」の実演が行われた。

■IGASで最大のブースを確保し、



イトーテック(株)



(株)キングコーポレーション



コニカミノルタに全てお任せください。

大評判

The essentials of imaging

自校正



**Digital Konsensus Premium**  
Ultimate Edition

デジタル印刷



**Folbaird AQUA**

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム



**bizhub PRESS C7000**

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム



**BLUE EARTH**

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 | デジタルイメージング事業部 | 4階印刷部 | 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 | 三井住友海上火災保険株式会社11F | TEL. 052-229-4624(代)

「KOMORI Solutions」をメインテーマに初披露機種も含め、環境配慮型最新鋭印刷機5台と各コーナーにおいて、高効率を追求し収益を生み出すビジネスを提案した(株)小森コーポレーション。

中でも、オフセットオンデマンドへの関心の高さが伺えた。このオフセットオンデマンドとは、「オフセット印刷の高品質・高生産を保ちながら、印刷準備時間の短縮、損紙の低減、印刷工程の短縮化を極限まで追及し、究極の小ロット、短納期対応を実現するシステム」。

オフセットオンデマンドを実演したのは、菊全判反転機構付8色オフセット枚葉印刷機(H-UV搭載)「LITHRONE G40P」、菊半裁4色オフセット枚葉印刷機(H-UV搭載)「LITHRONE S26」で、その性能を遺憾なく発揮し高い評価を得ていた。

■付加価値の高い後加工の内製化により、業態変革を提案したのが(株)桜井グラフィックシステムズ。

提案された「RSPインライン加工システム」とは、オフセット印刷機上で、筋押し・ダイカット・ミシンなどの後加工をワンパスで行う技術。会場では、菊半裁5色オフセット印刷機「オリバー566SD」による4色+後加工、菊半裁2色両面兼用オフセット印刷機「オリバー266EPZ」による2色印刷+後加工、1色/1色+後加工が実演された。

システムには、ユニット方式とインライン方式があり、前者は、追加ユニット胴にベースブランケットを装着させることにより加工を行う、後者は、2胴目のブランケットにベースブランケットを巻き付けて加工を行う。このシステムのために使用する材料(ジャケット、ブランケット、カッター、ミシン刃など)一式が、「RSP EASYスターセット」として用意されている。

■「優れた技術と色彩で織り成す多彩で感性豊かなコミュニケーション」をテーマに、「カラー・環境・付加価値」を示したDICグラフィックス(株)。

デジタル時代の色見本、DICデジタルカラーガイド、各種UV光源に対応した省電力UVインキなどを始め、環境貢献型インキ、CUD(カラーユニバーサルデザイン)への取り組みなどが紹介された。



(株)小森コーポレーション



(株)桜井グラフィックシステムズ



(株)リョービマシクス



(株)富士フイルムグラフィックシステムズ

■「省資源・省エネルギーソリューション」、「カラーソリューション」、「新時代の印刷関連ソリューション」の3つのテーマで各種の提案を行った東洋インキ(株)。

VOC排出ゼロを目指す環境調和型オフセットインキ、省エネルギー化を促進した高感度UV硬化型インキ、東北復興支援企画として行われた地産地消型ライスインキ、生産性向上・省材化・色の保障体系を確立する印刷標準プログラムなどが紹介された。

■「つくろう。印刷の『強い未来』を。」スローガンに、出展社最大のブースを確保し、18にも及び新製品を披露したのが富士フイルムグラフィックシステムズ(株)。

従来までの商印・出版分野を軸に、データプリント分野とパッケージ分野の新ソリューションを加えることで、「i-Vision X」から「i-Vision Wing」へと進化させた。その製品構成の中から、ハイブリッドワークフロー「XMF」の新バージョンを核に、注目の次世代インクジェットデジタルプレス「Jet Press 720」、カラーカンパ出力に威力を発揮する富士ゼロックス(株)の「DocuColor 1450GA」、連続紙高速インクジェットプリンター「2800IJCCF」などのデジタル出力群、さらに、ニュータイプの自動現像機と再生水再利用装置「XR-R」を組み合わせ、一段と環境性を高めた「ECONEXⅡ」、また、完全無処理CTPシステム「XZ-R」もペールを脱ぎ、CTP工程の環境対応を強力にサポート。それぞれデモンストレーション

により紹介された。

■「文字、ひろがる」をテーマに、紙媒体・Web・電子書籍・PODといった幅広いメディアにおける文字の可能性と、文字からひろがる先進性をアピールした(株)モリサワ。

フォントコーナーで注目されたのは、モリサワ書体をWebフォントとして利用できるクラウドフォントサービス「TypeSquare(仮称)」が出品され、フォント活用の新たな形が示された。また、電子書籍・雑誌ソリューションコーナーでは、「MC Magazine」を参考出品。これには電子雑誌の読みやすさと使いやすさを追求した独自機能を搭載している。

■高付加価値印刷を始め、環境対応商品など、進化した印刷システムを提案したリョービマシクス(株)。

RYOBI920シリーズのラインアップに片面・両面印刷兼用モデル「RYOBI 928P高速オフセット8色印刷機」(反転装置付、LED-UV印刷システム搭載)による、A4サイズ8面付け印刷、ワンパス両面印刷の高生産性、LED-UV印刷システムによる乾燥待ち時間ゼロ、全自動刷版交換など、優れた機能を披露。

また、印刷物の高付加価値ニーズに対応し開発されたのが菊全判寸延び高速オフセット単色印刷機「RYOBI1050-1」。UVキャストインク・フォイリングシステムを搭載、1台でフォログラム加工、箔押し、エンボス調印刷など、高い汎用性が示された。

## ■11月は「労働保険適用促進強化期間」です。

～労働者を1人でも雇用していれば労働保険に加入する必要があります～

### 思わぬ労災 予期せぬ失業 しっかりサポート労働保険

厚生労働省では、11月1日から11月30日までを、「労働保険適用促進強化期間」と定めています。

労働保険は、労災保険(※)と雇用保険(※)とを総称した名称です。事業主の皆さん、労働者(パートタイマー・アルバイト含む)を一人でも雇用しておれば、業種・規模の如何を問わず、労働保険の適用事業となり、事業主は加入手続きを行わなければなりません。(農林水産の一部の事業は除きます)。

加入手続きの相談は、愛知労働局労働保険適用・事務組合課(TEL052-219-5503)、あるいは、最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所にお尋ねください。

※労災保険/労働者が業務上または通勤途上において負傷・死亡した場合などに、被災労働者やその遺族を保護するために必要な保険給付などを行う制度。

※雇用保険/労働者の失業時の生活安定または再就職の支援のための保険給付を行う制度。保険給付以外にも雇用の確保・安定のための事業主に対して助成を行う事業も行っている。

## ■工業統計速報値発表

経済産業省/平成22年工業統計(速報値)

### 印刷出荷額6兆円割る (出荷額前年比3.4%減少)

経済産業省が9月30日に発表した2010年(平成22年)の工業統計速報によると、「印刷・同関連業」(従業者4人以上の事業所)の製造品出荷額は約5兆9,600億円、前年比3.4%減となり、6兆円を割り込んだ。

速報は、平成22年12月現在で従業者4人以上の製造事業所を対象に実施された工業統計調査の速報。

10人以上の事業所について統計全

体を見てみると、事業所数は4年連続、従業者は3年連続減少しているが、製造品出荷額、付加価値額はともに4年ぶりの増加となった。

製造品出荷額は、24産業のうち23産業が減少した前年に比べ、13産業で増加している。回復した産業が上回ったことを表している。4人以上の事業所で見ても、前年比7.6%増加している。

「印刷・同関連業」(印刷業・製版業・製本業・印刷物加工業・印刷関連サービス業)は5兆9,600億円、前年比3.4%減となり、2009年(前年比8.4%減)の6兆1,700億円から約2,100億円減少している。事業所数を見ても、1万3,883事業所で同6.5%減、従

業者数は29万5,722人で同4.3%減、付加価値額は約2兆5,500億円と同4.5%減となった。

2009年の工業統計では、製造品出荷額が減少した23産業の中であって、「印刷・同関連業」は2番目に下落率が小さく、他の製造業と比べ多少の違いを見せている。しかし、企業の広告宣伝費の抑制、出版需要の減少、電子媒体へのシフトと、これらの流れは変わることがないと思われるので、依然として印刷産業の厳しさは増すばかりといえる。

## 事務局だより

■青空が澄み渡る中、散歩の途中に公園の小さなグラウンドで幼稚園の運動会に出くわしました。しばらく立ち止まり見学。いつの間にか、半世紀も前の自分の姿が思い出されました。と同時に、彼らが大人になったら世の中はどのように変わっているのだろう、いらぬ心配をしていました。

■公園には、彼岸花、コスモスが咲き、銀杏の木にはぎんなんが実を付けていました。酒の肴にはこれほどいいものはない、呑み助の一面がむき出しになった一瞬でした。■写真は10月末日の印刷会館の竣工状況です。あと2ヶ月と少しで完成です。



## あいの印刷

No.480

平成23年11月10日発行

発行人 高井 昭 弘  
編集 組織・官公需委員会  
発行所 愛知県印刷工業組合  
(仮移転先) 愛知県製本会館5階  
〒461-0005 名古屋市東区東桜2-9-22  
TEL (052) 508-5201  
FAX (052) 979-5366

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>  
◆E-mailアドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)